



我が国初の衛星左旋円偏波による4K試験放送 終了

一般社団法人放送サービス高度化推進協会（東京都港区：理事長 福田俊男、以下A-PAB）は、2017年4月1日（土）から1年7ヶ月間にわたって放送しておりました、東経110度CSを利用した衛星基幹放送による我が国で初めての「左旋円偏波による4K試験放送」を、10月31日17時をもって終了いたします。

この試験放送は、4K・8K放送の基本的な伝送路となる左旋円偏波の、一番高い周波数（IF帯3224MHz）を使って行う事により、4K・8K放送の受信・伝送システム、受信機器の開発、試験、検証、送出設備の機能検証等を行うとともに、4K・8K放送導入の施工現場での施設診断、改修設計支援、改修診断等に活用されることが出来ました。

◆ 左旋円偏波による4K試験放送の実績

【1】衛星左旋円偏波による4K試験放送 実績等

- ① 放送期間：2017年4月1日11時～2018年10月31日17時（1年7ヶ月）
- ② 放送時間量：3,546時間
- ③ 合計番組タイトル数：15番組
- ④ 番組提供社：スカパーJSAT

【2】試験放送の活用実績

- ▷ 開発・試験・検証
 - ・3.2GHz 機器開発時の信号の入出力、受信、動作、映像品質確認。（4Kチューナ/ブースター他）
 - ・各種受信システムの診断。
- ▷ 施工関係
 - ・3.2GHz 対応施工の事前調査、試験、診断、検討。（集合住宅/戸建住宅）
 - ⇒伝送試験（施設診断）
 - ⇒ケーブル伝送における減衰量測定（改修設計支援）
 - ⇒ケーブル交換不可時の増幅量診断（増幅器設置等の改修診断）
- ▷ 周知活動
 - ・各メーカーの展示会、講習会での受信展示説明、3.2GHz 対応システムの調整方法研修等。

以上

<お問い合わせ>

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会 左旋試験放送事務局 布村

(TEL: 03-5785-3736 mail: sasenjimu@apab.or.jp)